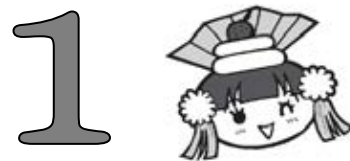


アイセル 21 静岡市女性会館 図書コーナーだより



2017 vol.151

☆今月の特集☆
利用者が選んだ
この本いいね! 2017

新年あけましておめでとうございます

今年もスタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしています。 2017年 元旦

今月のおすすめ

台湾少女、洋裁に出会う 母とミシンの60年

鄭 鴻生 著 天野 健太郎 訳 紀伊国屋書店 (289.2) 2016年

1918年、ある少女が台湾で生まれた。実家の商店の経営は苦しく、彼女は中学進学もかなわず、店番ばかりの生活に退屈していた。そのような日常で少女を魅了したのは、商品を入れる紙袋。それは日本で発行された「主婦之友」や「婦人倶楽部」などの廃棄物で作られており、最新スタイルの洋服や細密な製図が載っていた。彼女はたちまち魅了され、洋裁を学ぶことを決意したのだった。

日本語は読めないながら、雑誌の切れ端から手さぐりで洋裁を始め、日本人の経営する洋装店で縫い子となって腕を磨いた。日本に留学してさらにハイレベルのデザインや技術を学んだ彼女は、歴史の大きなうねりに翻弄されながらも、洋裁学校を開校し、多くの台湾女性に洋裁を教えていった。

この本には、政治体制の変化、経済発展によって都市化する台湾社会を背景に、60年にわたる彼女の洋裁人生が書かれている。著者はこの女性の息子であり、母親や懐かしい台湾の街並みへの愛情が伝わってくる。

この洋裁の歴史は、日本のそれと重なる。私は読みながら、自分の母親の若い頃を思い出していた。小さい私と弟を連れて洋裁教室に通い、何枚も洋服を作ってくれた母。元は日本舞踊などを教えていたが、転勤族の父親との結婚で不可能となった。不慣れな料理を覚えることから始めて、子育てをし、洋裁を学んでいったのだ。私が学校から帰ると、母は台所で三味線の稽古をしていた。今になって考える。あの時、母は何を思っていたのだろう。

年始にあたって、自分や母親、または子ども世代の人生について思いを馳せながらの読書も良いかもしれない。より良い人生へのヒントを与えてくれる本は、図書コーナーのあちこちで待っているのだから。(田嶋三恵)



「台湾少女、洋裁に出会う」
を読んで心に残った言葉

独立を目指すにせよ、内職のためにせよ、あるいは結婚の箔づけのためにせよ、1950年代以降は台湾人女性にとって、洋裁という技術は、自分の道を切り開くための強い武器となっていた。

NEWS

年始特別企画 新春 本の福袋



年末に引き続き、図書コーナーでは、「本の福袋」の貸出しをしています。図書コーナーのスタッフがテーマ別に3冊選びました。何が入っているかお楽しみに。新しい袋もたくさんご用意しましたので、ぜひお寄りください。



蔵書点検にともなう 図書コーナー休室のお知らせ

図書コーナーは蔵書点検のため
2月6日(月)から10日(金)まで、
お休みします。

この期間中、閲覧、貸出はできませんが、返却は受け付けます。どうぞご了承ください。

2017年2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

『暮らしの手帖』とわたし』大橋鎮子 (023.067)

大橋鎮子さんの生き方が素直に読者に伝わってくる本でした。多くの有名な人たちとも関わりがあったのには、驚きました。テレビよりずっと味があるし、面白いと思いました。(K.S.)



『娘になった妻、のぶ代へ』砂川啓介(772.1)

介護経験のある身にとって、とてもよく理解でき、そして老々介護がどんなに大変かと。啓介さんのことが気に掛かります。他の人の手助けもお願いしながら、自分の心も体も大事にしながらの介護、本当に大切なことですね。(ベレ)



『みんな「夫婦」で病んでいる』本田りえ (367.3)

「わが家にもあるある…」と読み始め、「どのうちにも同じようなことあるんだなあ」と読み進め、最後には「うちなんてましな方じゃん！」とホッとする展開に…。面白く読みました。(ありさ)



『いしゃ先生』あべ美佳 (B913.6)

久々に、読んで時間を忘れてしまう本に出会った気がします。普段当たり前前に感じてること、生活、すべてのものが、場所が変われば全く違うこと。今日の前にある当たり前前のことを、もっと深く、なぜそうなったのか意識して過ごしたいなと思いました。(パニラクリーム)



『私は私。母は母。』加藤伊都子 (367.3)

親との関係に悩んでいる方へ。わたしはこの本を読み進めることに苦痛を伴いました。でも「自分の人生を全うする」には読む価値があったと思います。



「この本いいね！」とは

図書コーナーでは貸出時にお渡しする「返却期限票」の裏に、感想を書いていただくスペースを設けています。ここに寄せられた皆さんの感想から、このページは構成されています。

『主夫になってはじめてわかった主婦のこと』中村シュフ (590)

主婦の仕事を言葉でうまく表してくれています。育児中主婦にとって「LINE を送るのも家事」とか「おでかけまでの様々なやるべきこと」など、その通り！ 非主夫の男性に読んでもらいたい本です。



『女の旅 幕末維新から明治期の11人』山本志乃 (384.37)

朝ドラの主人公が九州の炭坑まで何日もかけ山を登り旅をする様子を見ました。本の福袋に入っていたこの本は、女がどんな旅をしてきたのかコンパクトにまとめているので、興味深く読みやすかったです。(たいようのばあば)



『姉・米原万里』井上ユリ (910.268)

何事も一途で前のめりに邁進する姉の姿を、妹の目から暖かく描いた作品。豊富な写真も万里の姿を懐かしく思い出させてくれます。



『仕事で数字を使うって、こういうことです』深沢真太郎 (336.1)

仕事で「数学」は使いません。仕事で「数字」を使うのです。いつもの業務×数字=ズッキリ！ストーリー形式なので、面白く読みやすいです。(イケサク)



『バラカ』桐野夏生 (913.6)

恐ろしい！ 実際にこのようなことがあったら…。子のない親、親のない子、そこに社会の醜さ加わると。必見である。(Y.I.)



『「スウェーデン・モデル」は有効か』レグランド塚口淑子 (364)

日本の現状との差異がよく分かり「なるほど」と納得しました。知ることがまず第一。小さくても自分のできることをしていこうと思いました。(C.I.)



『戦争は女の顔をしていない』(B986) スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ

重たい悲しい、どの戦争にあっても、一番泣くのは女、子ども。しかし立ち上がるのは女。産み育てる強さが、前向きにさせるのだ。(Y.I.)



『マルガレーテ・シュタイフ』かなき詩織・画 (289 児童書)

テディベアがどうやって作られたか、知ることができとても面白かったです。何事もあきらめずにがんばるマルガレーテに感動しました。



『部長、その恋愛はセクハラです』牟田和恵 (366.3)

もっと早く読めばよかった。従来「OK」で平気で話した単語が、今の社会では「NG」。男性の必読書。(K)



『ハピネス』桐野夏生 (913.6)

日常のありふれた風景の中に、人々は置かれた環境で悩み、葛藤している。平和な安全な生活でくだらない、小さなことが生きる苦しみを与える。その心情をうまくとらえて書かれてあり、面白かった。



『岬のマヨイガ』柏葉幸子 (913 児童書)

東日本大震災で肉親を亡くされた方のお話を聞いてきましたが、そうした方々の思い、人間関係に押しつぶされそうになっている人の思いが、遠野の民話に絡めて、伝わってきて心を打たれました。岩手出身の作者ならではのお話と思いました。



『逃げたい娘 諦めない母』朝倉真弓・信田さよ子 (367.3)

エンパワメントされ強くなった主人公が、揺れ動きながらも母との距離を取る方法が参考になった。(K.I.)



『男子問題の時代?』多賀太 (371.3)

最近男性の方が生きにくくなっているのでは、という声を聞くにつけ、原因を考えても混乱してくる自分がいた。この本の読みやすさと、ジェンダーの視点で男子問題を考えるという指摘で、目からうろこ！女性の問題の解決の要の一つとしての男性問題、ジェンダーの視点の大切さを再確認した。



『なんにもないけどやってみた』栗山さやか (916 児童書)

TV で「こういう女性がいる」と知り、本を借りました。その行動力、ぶれない強い気持ちに圧倒されました。こういう方々が、世界のどこかで他人のために頑張ってくれているんだ…と思いました。どうかみんなそれぞれの「生」を大切に幸せになってほしいと思います。



『抱く女』桐野夏生 (913.6)

「抱かれる女」から「抱く女」。これは女の、男からの独立をテーマにしている小説ですが、積極的に「抱く」のみならず「抱く」とも読み替えられます。日本社会の男主導の観念にいかに対峙し、自己の成長を「性」「死」「生」「家族」の縞を通して読んでいきます。(タカマル)



『啼かない鳥は空に溺れる』唯川恵 (913.6)

「結婚」という一つの変化が、寄り添っていた母娘を引き離し、一方で反発し合っていた母娘を結びつける。人生は、思うとおりに進ませようとするが、思わぬ道が既にある。そのどうしようもない現実が面白かった。



『試練は女のダイヤモンド』吉永みち子 (281.04)

生きる勇氣。頑張る勇氣。優しくする勇氣。認める勇氣。捨てる勇氣。女ってすごい。女でよかった!!



『男性の非暴力宣言』(367.5) 多賀太・伊藤公雄・安藤哲也

DV のない世界に向けて立ち上がった男性たち。「ホワイトリボン」について初めて知りました。多くの方々に知っていただき、参加して下さるといいなと思いました。



『老後の資金がありません』垣谷美雨 (913.6)

将来必ずや出費するであろうお金のために、日々四苦八苦の家計をやり繰りし大ざっぱに見積もりをしても、いざその場に至れば予想外にお金が…。固定観念やつまらぬ見栄を捨てること。そうしたら違う「自分」に出会えるでしょう。(T.T.)



『花をたてまつる』石牟礼道子 (914.6)

『苦海浄土』から石牟礼道子にのめり込んでいます。人間の根幹を見据えた揺るぎないすごさに、脳天を打たれた感覚が、この本からもありました。とにかくすごい文学者だと思います。今日の日本にとって絶対に必要な、メッセンジャーではないでしょうか。(C.I.)



『県庁おもてなし課』有川浩 (913.6)

小説だけど実用書!? 行政に関わる人は全員読んでみてもらいたいし、商品や企画の魅力を PR したいと考えている人にもおすすめだと思います。



新着図書リスト

1月の新着図書です。
新着図書コーナーをご覧ください。なお、貸出中の場合はカウンター
でお問い合わせください。

資料名	著者名	請求記号
《歴史・伝記》		
市川房枝の言説と活動 1893-1936 年表でたどる婦人参政権運動	市川房枝研究会	R289.1
市川房枝の言説と活動 1937-1950 年表で検証する公職追放	市川房枝研究会	R289.1
市川房枝の言説と活動 1951-1981 年表でたどる人権・平和・政治浄化	市川房枝研究会	R289.1
今を生きる90代女性のビジネス・ライフ 働く女性と上司に贈る「運、鈍、根」がキーワード	梅島 みよ	289.1
坂野惇子の人生 「べっぴんさん」のモデルが生きた 波乱なる生涯と真実	メディアソフト	289.1
戦後70年ーいま、女たちは発言する 離婚と慰謝料 [2016]改訂版	渡辺 一枝ほか 平山 信一	304
離婚の手段と手続き・お金・子ども の問題などいちばん知りたいこと	梅田 幸子	324.62
お祈りメール来た、日本死ぬ 「日本型新卒一括採用」を考える	海老原 嗣生	366.21
キャリアと出産 働く女性のワーク・パース・バランス	大葉 ナナコ	366.38
《女性・男性問題》		
女性学年報 第37号 2016	日本女性学研究会	367.2
ルポ貧困女子	飯島 裕子	367.21
そして〈彼〉は〈彼女〉になった 安富教授と困った仲間たち	細川 貂々	367.3
子どもとスマホ おとなの知らない子どもの現実	石川 結貴	367.61
夫婦・家族で考える老後の 住まいとお金	文春ムック	367.7
《福祉・教育》		
貧困の現場から社会を変える	稲葉 剛	368.2
貧困と保育 社会と福祉につなぎ、希望をつむぐ	秋田 喜代美ほか	369.42
《科学・医学》		
ASD(アスペルガー症候群)、ADHD、LD 女の子の発達障害 “思春期”の心と 行動の変化に気づいてサポートする本	宮尾 益知	493.937
乳がんの人のための日常レシピ かんたん&からだがよるこぶ60品	キャンサーリボンズ	495.46

資料名	著者名	請求記号
《生活・育児》		
隠れ貧困に陥らない！ 「女の年金」と貯蓄術	中央公論新社	591
小児科医は自分の子どもに薬を飲ませない いらぬ薬、いらぬワクチン教えます	鳥海 佳代子	598.3
《文学》		
お願い離れて、少しだけ。	越智 月子	913.6
農ガール、農ライフ	垣谷 美雨	913.6
曲がり木たち	小手鞠 るい	913.6
甘いお菓子は食べません	田中 兆子	913.6
クローバーナイト	辻村 深月	913.6
橋を渡る	吉田 修一	913.6
女城主 戦国時代小説傑作選	池波 正太郎ほか	913.68
九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子	914.6
ジュリエット	アリス マンロー	933.7
《子どもの本・絵本》		
研究するって面白い！ 科学者になった11人の物語	伊藤 由佳理	402
マルの背中	岩瀬 成子	913
クジラに救われた村	ニコラ デイビス	933
キルトでつづるものがたり 奴隷ハリエット・パウワズの心の旅	バーバラ ハーカート	E
《行政資料》		
きら星女 女性の起業を応援する静岡市の情報誌	しずおか女子きらっ★ プロジェクト	1-C

… 寄贈図書 …

《総記》		
幸せの絵本 2 大人も子どもも、もっとハッピーにしてくれる絵本100選	金柿 秀幸	019.53
《歴史・伝記》		
しずおか 妖怪・奇談を訪ねて 現代に残る不思議スポット	静岡新聞社出版部	S291.54
《福祉・教育》		
ドリームマップ 子どもの“生きる力”をはぐくむコーチング	秋田 稲美	375.25
《文学》		
歌集 さあどう生きる	田村 紘子	911.168
コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	913.6

静岡市女性会館 図書コーナーだより vol.151

発行日：2017年 1月1日 編集・発行：NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか

〒420-0865 静岡市葵区東草深町3番18号 TEL054-248-7330

静岡市女性会館ホームページ <http://aicel21.jp> ※ホームページより資料の検索と予約ができます。

利用時間：9:00～19:00（第2・4月曜日、年末年始、図書整理日、蔵書点検日 休館）

貸出点数：1人 図書・雑誌5冊、CD・カセット2点まで 貸出期間：2週間以内